

## ガーナでそろばんプロジェクト 93 号(2021 年 5 月 22 日)

★★ 数字をそろばんの珠で読む力をつけたいという思い ★★

『誰一人取り残さない』を目標にしている算数の授業は、4年生と5年生でおこなっています。これまでの授業では、お手製のラミネート加工した数カードで、大きい数や小さい数、近い数を作り、その数を教師用の大きなそろばんに置くことをしましたが、その大きい数、小さい数、近い数の説明に時間を費やしてしまい、なかなかそろばんを使ってじっくり数を説明することが出来ずにいました。そろばんを使った授業になかなか進めないでいる悩み、また五の作り十の作りを指を使って数えないと直ぐには答えが出てこない事の悩みと授業について様々な悩みがありました。「もしかしたら、自分があまりにもそろばん式で計算の仕方を子どもに教えようとしているから先に進めないのではないか?」そうとさえ思っていました。しかし、やはり「そろばん式」で計算を教えることが繰り返り繰り返り下がりの計算を理解できるように!!そう思い取り組んだ4年生の授業でのことです。この日は、フラッシュ暗算ならぬスロー暗算から授業を始めました。数カードを一枚一枚ゆっくりと出していく、その数カードを足していきます。最初は、答えが5になるように。慣れてきたら5のカードを基準に答えが9になるようにカードを出していきます。9の答えに慣れてきたところで答えが「0」や「1」になることもやってみました。これは、9の答えに+1や8の答えに+2でやってみました。Make10を理解してきたことがわかりました。続けて、このスロー暗算を教師用の大きなそろばんで実践していきます。久しぶりのそろばんなので先ずは私が実践、そのあとに子どもたちが珠を置いていく実践です。「2」しっかりと置けました。つづけて他の子どもが「1」を置きます。位を間違えることなく一の位に置かれた2に「+1」が出来ました。続いてまた他の子どもが「1」を足す作業です。しっかりと「+1」が出来ました。久しぶりのそろばんを使った授業なのに、しっ

かり覚えていきます。そして次は「5」です。これまで何度教えても五珠の理解が出来なかった子どもたち、果たして五珠を置くことが出来るのか?五珠をおろすことが出来るのか?見守っていると前に出てきた子どもは五珠を置くことが出来ました。五珠が理解できている。続いて他の子どもに「7」を置くこともやってもらいました。「5」と「2」をおいて「7」出来ました。うれしくて涙が出てきました。これから本格的に授業でそろばんを使うことができます。4年生は現在30人を超えています。30人を超えている中の『誰一人取り残さない』そろばんの授業の実践は容易くはないでしょう。しかし、子どもたちは計算ができる楽しさという事にも気づいたと思います。そろばんで計算が出来るようになる楽しさを子どもたちに持たせ続けることも私の役割です。容易くないからこそ子どもたちから教えられることも多くあります。試行錯誤しながら『誰一人取り残さない』授業を実践していきます。

報告 TOSHIKO



この日も担任の先生は途中まで授業のサポートをしてくれました。

協賛

トモエそろばん様